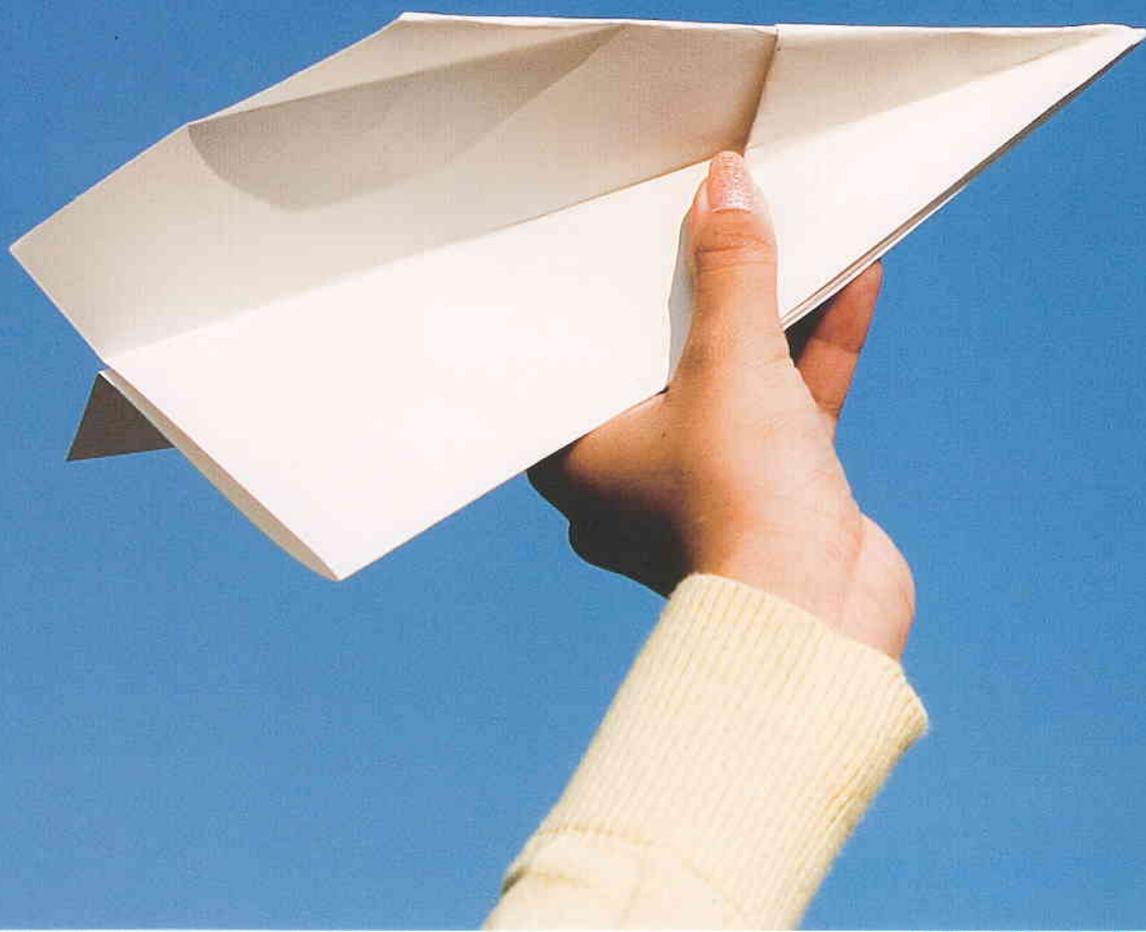


香川大学大学院教育学研究科

高度教職実践専攻

# 教職大学院

平成28年  
4月開設



## 教育学研究科長・専攻長挨拶

### 教育学研究科長 挨拶

香川大学大学院教育学研究科長  
毛利 猛



香川大学大学院教育学研究科では、高度専門職業人としての教員養成の機能を強化するため、平成28年4月に、高度教職実践専攻（教職大学院）を開設することになりました。

教職大学院は、学校力開発コース、授業力開発コース、特別支援教育コーディネーターコースという3コースから成り、新しい学校づくりの有力な一員となりうる新人教員、および確かな指導的理論と優れた実践力・応用力を備えたスクールリーダーを養成します。そのために理論と実践の架橋・往還を重視するカリキュラムを用意しました。とくに道德教育・生徒指導に関する指導力、特別支援教育に関する素養と技能を育成するカリキュラムが充実していること、また、「学び続ける教員」を支援するフォローアップ・プログラムを設けていることも本専攻の特色です。

意欲溢れる学部卒業生、そして現職教員の皆さんの入学を心待ちにしています。

### 専攻長 挨拶

専攻長  
有馬 道久



21世紀は知識基盤社会の時代と言われています。産業や文化をはじめ社会のあらゆる分野で急激な変化が起き、人は複雑で多様な課題に直面する時代です。そこで重要になるのが、新しい知識・情報・技術です。

そして、そうした社会を生き抜いていかなければならない子どもたちの生きる力を育むことが学校教育の使命になります。そのためにはまず、教員自身が、多様な発達を見せる子ども一人ひとりの特性に応じた教育的支援を行えるよう、教育に関する知識・情報・技術を日々更新していくことが不可欠ではないでしょうか。これが学び続ける教員の姿だと思うのです。

私たちと一緒に新しい知を求めつつ、教育課題の解決モデルをつくりませんか。

これから教員をめざす皆さんと向上心豊かな現職教員の方々の入学をお待ちしています。

## 教職大学院とは

平成19年度に、高度専門職業人養成としての教員養成に特化した専門職大学院として、制度化され平成20年度から教職大学院として開設されました。

教職大学院が従来の大学院と大きく異なる点は、以下のようなことがあげられます。

- ①講義や演習等が学校現場の課題を解決するためのより実践的な内容となること
- ②課題を解決するために大学教員と協働的に取り組む実習（修了要件45単位以上のうち10単位以上が学校等での実習）が設定されること
- ③修士論文がなく、実践に基づく実践研究報告のようなまとめを行うこと

院生を支える教員スタッフも従来の研究者が大半であった大学院に比べ、4割以上が教職経験者等の実務家教員であり、研究者教員との協働で支援を受けることができます。さらに、授業方法等においても研究指導中心から、事例研究や現地調査、双方向・多方向に行われる討論・質疑応答等を多彩に取り入れたものに重点が置かれます。また、学位については従来の大学院が、修士（教育学）であったのに対して、教職修士（専門職）となります。

香川大学大学院教育学研究科では、学校力開発コース、授業力開発コース、特別支援教育コーディネーターコースの3コースからなる高度教職実践専攻（教職大学院）を平成28年4月に開設します。

## 募集する人材像（アドミッション・ポリシー）

学び続ける教員一人ひとりの専門性と実践力を高めるとともに、そこで培った力を複雑・多様化する学校教育の課題解決に活かせるよう支援します。

「募集する人材像（アドミッション・ポリシー）」として、次のような方を募集します。



- 〔 **学校力開発コース** 〕 …学校現場の多様な実践的課題に関心を持ち、高度な教育実践力の獲得と向上をめざし、学校教育を支える中堅教員となることをめざす方
- 〔 **授業力開発コース** 〕 …成果を挙げる学校づくりに関心を持ち、新任・中堅・ベテラン教員間の協働性を高める実践的指導力の向上をめざす方
- 〔 **特別支援教育コーディネーターコース** 〕 …通常の学級に在籍する発達障害等のある児童生徒への質の高い支援の実現や特別支援教育に関わる校内支援体制の確立をめざす方

## 入試概要

<b>学 位</b>	教職修士（専門職）
<b>標準修業年限</b>	<p>原則として2年。ただし、以下の制度やコースを活用することもできます。詳細については、募集要項を参照してください。</p> <p>&lt;修学上の特例&gt;</p> <p>(1)短期履修学生制度 優れた教育研究の実績のある現職教員の方を対象とした制度です。教育委員会からの推薦の他、厳正な審査を経て、1年間の履修によって修了することができます。</p> <p>(2)長期履修学生制度 職業を有している等の事情により、長期履修を希望する方に適用する制度です。2年間で設定されている教育課程を、4年間で上限として履修計画を立て、長期履修学生として在籍することが可能です。その場合の授業料は、履修期間にかかわらず、原則として2年間に支払うべき授業料総額を3年間又は4年間に分割して支払うことになります。</p> <p>(3)小学校教員免許取得コース 3年間の長期履修学生制度を活用して小学校教諭免許状を取得するコースです。大学院で学びながら、学部において開講している小学校教員免許状のための授業科目を履修することができます。教職大学院では、中高など何らかの教員免許を有していることがコース選択の条件となります。</p>
<b>取得できる専修免許状</b>	<p>小学校教諭専修免許状</p> <p>中学校教諭専修免許状（国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、保健、技術、家庭、英語）</p> <p>高等学校教諭専修免許状（国語、地理歴史、公民、数学、理科、音楽、美術、工芸、書道、保健体育、保健、看護、家庭、情報、農業、工業、商業、水産、福祉、英語）</p> <p>養護教諭専修免許状</p> <p>幼稚園教諭専修免許状</p>
<b>入学定員</b>	14名
<b>選抜方法</b>	<p>(1)学力検査日 …A日程：平成27年11月28日（土） …B日程：平成28年1月30日（土） …C日程：平成28年3月5日（土）</p> <p>(2)学力検査科目…小論文、口述試験</p>



学生募集要項は  
香川大学教育学部  
ホームページに  
掲載しています。

## カリキュラムの特色と構成

これからの学校教育を担う教師には、確かな専門性に立脚した分析力・構想力と、複合的な学校課題や教育課題に組織的に対応できる実践力、発達障害を含む子どもの多様性や個性を理解した上で普通教育と特別支援教育をともに実行できる実践力が求められます。

教職大学院では、学校教育に関する理論と実践を教授研究し、学校現場の課題について、理論と実践の架橋・往還を可能とするカリキュラムを構築しています。特に、本学の特色は、「生徒指導と道徳教育に関する指導力育成」と「特別な教育的支援を必要とする通常学級在籍児童生徒に対する指導力育成」に力点を置いたカリキュラムになっている点です。

## カリキュラムの概要

科目区分	単位	領域
共通科目	20	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育課程の編成・実施に関する領域</li> <li>・教科等の実践的な指導方法に関する領域</li> <li>・生徒指導及び教育相談に関する領域</li> <li>・学級経営及び学校経営に関する領域</li> <li>・学校教育と教員の在り方に関する領域</li> <li>・通常の学級における特別支援教育に関する領域</li> </ul>
コース科目	16	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校力開発領域</li> <li>・授業力開発領域</li> <li>・特別支援教育コーディネーター領域</li> </ul>
実習科目	10	学校力開発コースと授業力開発コース ・附属学校での実習 ・連携協力校(公立学校)での実習 ほか 特別支援教育コーディネーターコース ・特別支援教室「すばる」での実習 ・病院実習 ほか
計	46	修了要件単位数

子どもの発達と発達障害に関する理解を重視した  
発達支援の理念に基づく

道徳教育・生徒指導の充実

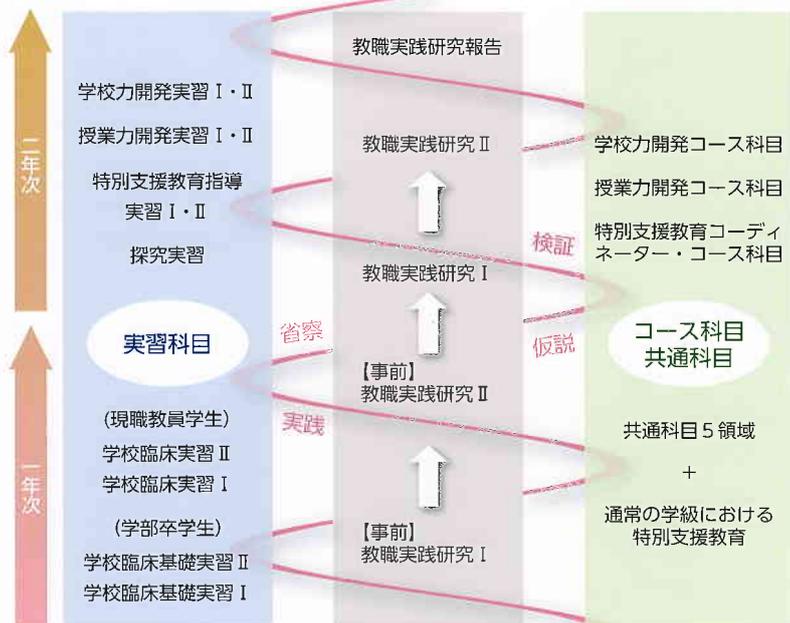
特別支援教育の充実

特別支援教育コーディネーター領域のコース科目の一部と特別支援教育コーディネーターコースの実習科目については、特別支援教育コーディネーターコースに所属する院生のみ受講となります。

## カリキュラムの柱となる実習

### 「理論と実践の融合」モデル

確かな専門性に立脚した分析力・構想力  
複合的な学校課題や教育課題に組織的に対応できる実践力  
子どもの多様性や個性の理解に基づく通常教育と特別支援教育に関する実践力  
生徒指導と道徳教育に関する指導力



共通科目及びコース科目で修得した教育理論は、実習を通じて具体化します。こうした「理論と実践の融合」を実現させるため、教職大学院に相応しい実習プログラム(基礎実習・探究実習・開発実習)が編成されています。そこには、次の二つの方法

- ①新たな知見や技術の教育実践へ適用と検証  
(仮説検証型アプローチ)
- ②実践的な教育課題の共同解決  
(実践・省察型アプローチ)

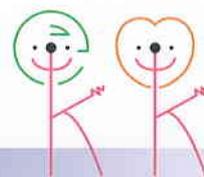
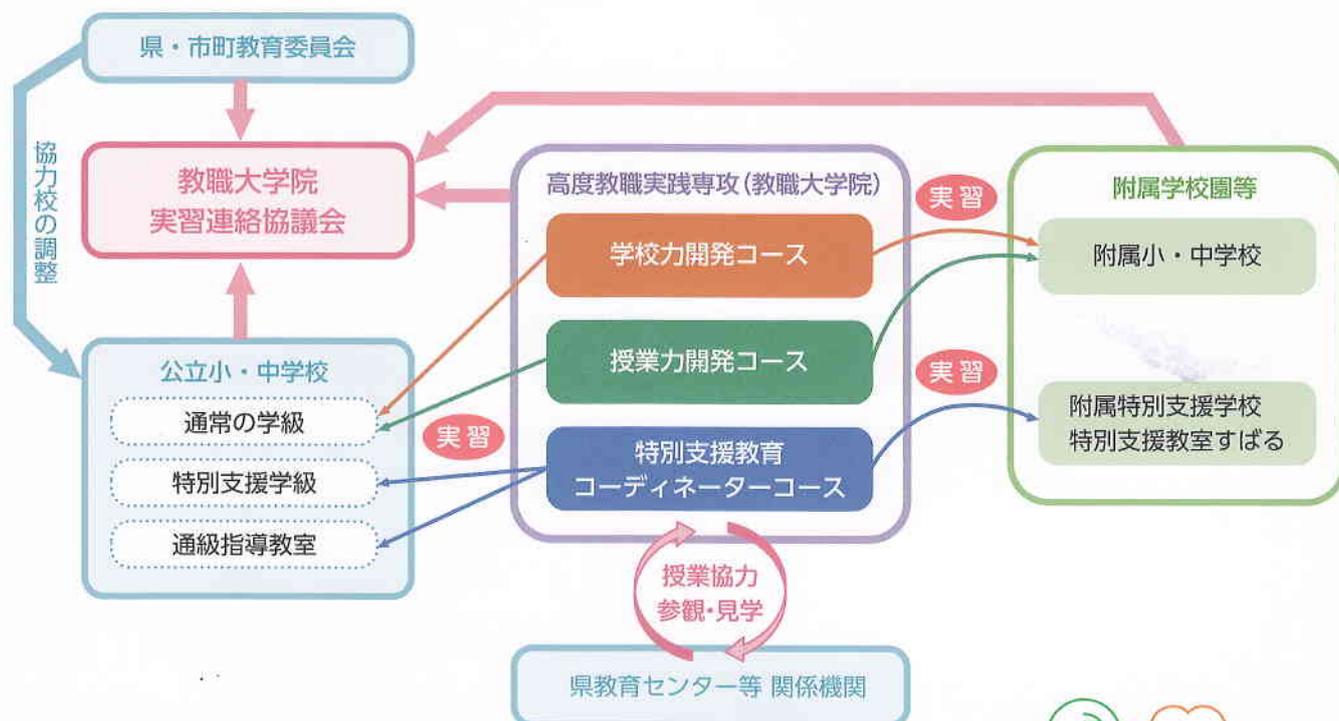
が取り入れられています。

実習科目は、実践的な協働課題解決による教師の総合的成長を保証するものとして構築し、学生の課題発見力、実践・省察力、組織構築力の高度化をめざすものです。カリキュラムの柱となる実習科目と、習得型・活用型の共通科目・コース科目とをつなぐ融合科目として「教職実践研究Ⅰ・Ⅱ」を開講します。この授業では、各自の実践課題を整理し、課題解決のための探究が行われます。

## 教育課題に基づいた実習

教職大学院における実習は、附属学校園・連携協力校等と連携して行います。実習形態は、教育課題により異なります。

- 〔 **学校力開発コース** 〕 …学校経営・学級経営や生徒指導、校務分掌の効果的な遂行について実践し、組織を活性化する方策について探究します。
- 〔 **授業力開発コース** 〕 …授業実践記録を通して客観的な分析ができる力量が高められる実習を通して、授業向上につながる構想力・実践力・省察力を一層みがきます。
- 〔 **特別支援教育  
コーディネーターコース** 〕 …特別支援教室「すばる」等において発達障害のある子どもの個別指導を担当し、アセスメントや個別の指導計画の立て方、実際の指導方法・技術について実践します。



## フォローアップ・プログラム

本学独自の取組として、学校現場の先生方に、「学び続ける教員像」を浸透させるため、教職大学院フォローアップ・プログラムを設けます。大学院修了後も教員としての力量形成をサポートします。下記に示す1年間のプログラムを修了した方に活動認定を行います。

### 主な活動内容

- 年間を通じた学校力アッププログラムの策定・実践・省察
- 実践成果に基づいたスクール・ミーティング (教職大学院担当教員を含めた校内研修)
- 教職大学院主催の「教職実践研究交流会」への参加と情報交換
- 香川県教育委員会主催の「香川の教育づくり発表会」、もしくは「香川県教育センター研究発表会」において「教職大学院ブース」を設けての発表 (香川県外の方は個別に相談)
- 教職大学院主催の「教職実践研究フォーラム」での参加

## 1年間のスケジュール



### 入学

教職大学院での新たな学びがはじまります。



### 教職実践研究交流会

大学院生・修了生や現職教員と、実践について情報交換をしながら交流を深めます。



### 実習(実践)

置籍校や連携協力学校等において、各自の教育課題に応じた課題解決のための実践を継続的に行います。

4月 April

1・2年次

1年次

2年次

5月 May

6月 June

7月 July

8月 August

9

共通科目・コース科目の履修

学校臨床基礎実習Ⅰ

授業力開発実習Ⅰ

標準履修モデル  
(授業力開発コース)

### 教職実践研究(リフレクション)

共通科目・コース科目で修得した理論を基に実践を振り返り、課題解決のための探究を行います。

## 3つの専門コース

### 学校力開発コース

学校力とは、確かな授業力を基盤として形成される力であり、自律的学校経営を支えるために求められる、学級経営力、生徒指導力、学校経営力などから構成される総合力です。本コースではこうしたテーマに関わる内容を多角的に学ぶことで、**学級経営・学年団経営や学校経営**などを含めた現代に求められる学校力開発の中核的役割を担う教員を養成します。

- 生徒指導を基盤とする学級経営の内容
- 教育課程編成や校内・校区等の研修を担うために必要な役割
- 学校経営や学校の様々なマネジメントに関する内容

現職教員対象

### 授業力開発コース

今の時代に求められる「授業」の姿を追究しながら、**道徳教育や授業力向上**等の学校課題解決に向け、教育実践を構想し開発するための展望と力量をもつ教員を養成します。

- フィールドワーク、アクション・リサーチ、事例研究など、学校現場の諸課題に即した学びの充実

**現職教員学生** 個人の授業力向上だけでなく、中核教員として周囲の教員をも巻き込んだ、学年団や教科担当、学校全体の授業力を向上させることができる資質能力の形成をめざして、実践力とそれを裏づける理論に関して学びを深めます。

**学部卒学生** 確かな実践的指導力としての質の高い授業力を身につけるため、教材開発や授業構成、子ども理解や教科の本質を踏まえた授業開発等に関して学びを深めます。

現職教員・学部卒対象



**香川の教育づくり発表会**  
 研究指定校等、県内小中学校の実践報告ブースと並び、教職大学院ブースで発表します。

**附属学校園  
 教育研究発表会**

3月

2月

1月

12月

11月

10月

September

共通科目・コース科目の履修

学校臨床基礎実習Ⅱ

授業力開発実習Ⅱ

教職実践  
 研究フォーラム

探究実習

**香川県教育センター研究発表会**

教育センターの先進的研究を学ぶともに、教職大学院での実践を発表します。

**修了式**

教職修士(専門職)の学位が授与されます。



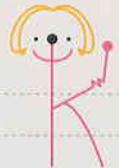
## 特別支援教育コーディネーターコース

教育学研究科設置の特別支援教室「すばる」や附属特別支援学校における指導事例の検討や実習、発達障害に関わる医療・療育機関等における実習など、演習と実習に重点を置いたカリキュラムを構築し、通常の学級に在籍する**発達障害等のある児童生徒への支援**を行い、特別支援教育に関わる校内体制を確立する要となる教員を養成します。

- 特別支援教室「すばる」での実習
- 子どものつまずきの評価
- 教科学習の基礎となる読み書きや計算・推論の支援方法
- 学校内外での共同や連携など
- 特別支援教育士(S.E.N.S)の受験資格(30/36ポイント取得)

現職教員対象

## 教員紹介



専任教員 (15名)

☆研究者教員 (7名)

七條 正典 … 生徒指導、道徳教育、学級経営

柳澤 良明 … 学校経営学、教育行政学、比較教育学

有馬 道久 … 教育心理学、教師教育、授業研究

野崎 武司 … 授業研究、学級経営、教師教育

武藏 博文 … 特別支援教育

恵羅 修吉 … 神経心理学、心理アセスメント、特別支援教育

宮前 義和 … 臨床心理学、教育相談、特別支援教育

☆実務家教員 (8名)

植田 和也 … 道徳教育、授業研究、学級経営

山本木ノ実 … 教育相談、特別支援教育、学級経営

田崎伸一郎 … 授業研究、教材開発

他 5名

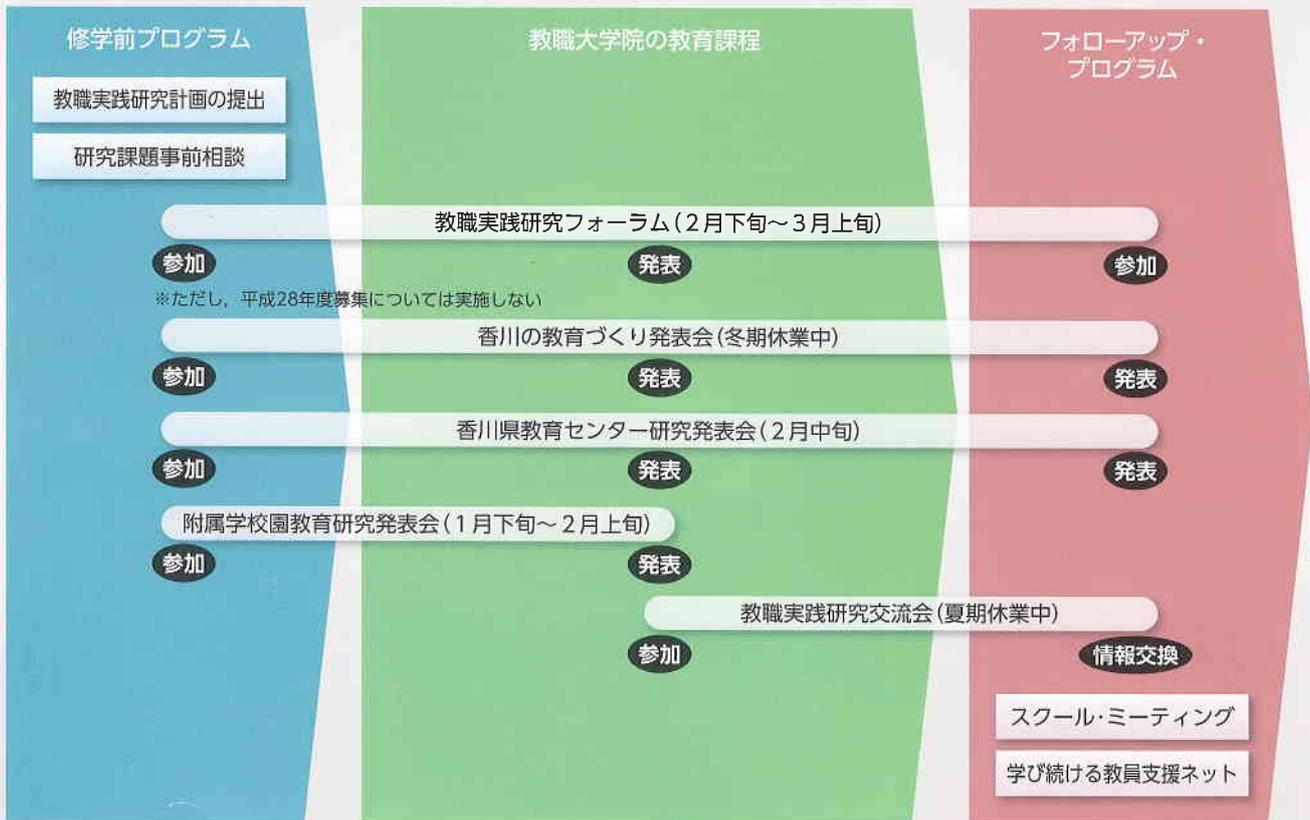
兼任教員 (11名)

現職教員の  
みなさまへ

## 短期履修学生制度 … 1年間の履修で修了できます

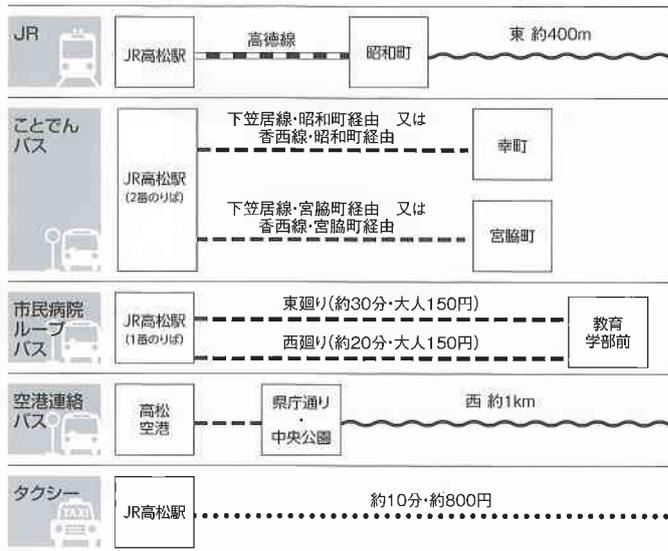
教職経験5年以上で教育委員会からの推薦があり、厳正な審査により認められた方は、下記のプログラムを実践することで実習科目4単位が免除となり、1年間の履修で修了することができます。

短期履修学生制度では、修学前プログラム(教育研究会等への参加、研究課題事前相談、等)、修了後のフォローアップ・プログラム(勤務校での校内研修、教職実践研究交流会、等)などの受講条件があります。



※なお、香川県外の方については、個別に相談します。

### ACCESS



### 問い合わせ先



KAGAWA UNIVERSITY

香川大学教育学部学務係

〒760-8522 香川県高松市幸町1-1

TEL (087) 832-1404

http://www.ed.kagawa-u.ac.jp